

医療センターに来られる方へ

専門医療相談の内容

- ① 本人
配偶者や子供から物忘れを指摘されるため、1度診てもらいたい
- ② 家族
正月やお盆に帰省した折、親の異変に気付く
- ③ ケアマネージャー
ひとり暮らしをしている方を訪問したところ認知症が疑われる
- ④ かかりつけ医
糖尿病や血圧の治療が上手くいかず、認知症の影響が考えられる

難しい相談の1つとして…

患者さん本人が「自分は大丈夫!」と言い張り、受診を拒否するケースです。どうやって受診に繋がたらいいのでしょうか?

この場合は、かかりつけ医からの紹介が効果的です。信頼している先生からの紹介になると、患者さん本人が受診を受け入れやすくなります。認知症という言葉に敏感に反応する方もおりますので、脳の検査や健康診断といった形で勧め、ご本人が受け入れやすくすることが必要なようです。

認知症疾患医療センターからのお願い

認知症の診断や経過を見ていくには、日常の様子が大変重要になります。受診はなるべく状況が分かる方が付き添われて下さい。しかし、日常の様子をそのまま伝えた場合、ご本人が気を悪くすることがありますので、そのような内容はメモにまとめ、看護師やスタッフに渡すなどの工夫が必要となりますのでご承知ください。

悩んでること、不安に思うことがあれば、認知症医療疾患センターに相談してみませんか?



お問い合わせ先
0120-596-676